

国民年金基金に加入して 年金を増やしませんか！

国民年金第1号被保険者の老齢基礎年金に、さらに上乗せできる公的な個人年金制度として「国民年金基金」があります。

- メリット**
- ・加入時の掛金は60歳まで変わりません。
 - ・経済状況に応じて途中での口数の増減もできます。
 - ・掛金は全額、社会保険料控除の対象となりますので、確定申告により税金が軽減されます。
 - ・加入時に将来の年金額が分かります。
 - ・年金は終身年金が基本ですので、一生生涯受給できます。
 - ・受け取る年金は公的年金控除の対象となります。
 - ・万が一のときには、遺族一時金が支給されます。（B型は除く）

受け取る年金月額		
加入するときの年齢	1口目の年金月額	2口目以降の年金月額
20歳0月から 35歳0月まで	20,000円	10,000円
35歳1月から 45歳0月まで	15,000円	5,000円
45歳1月から 50歳0月まで	10,000円	

- ※1口目（終身年金）の年金月額は、A型、B型ともに同額です。
- ※2口目以降の年金月額に口数を乗じた額が1口目の年金に加算されます。
- ※50歳1月以降に加入する人の年金額は、加入時年齢（月単位）によって異なります。

7種類の給付の型をご自分の将来設計に合わせて加入できます。

老齢基礎年金は繰り上げ受給を除き65歳から受給開始となりますが、国民年金基金の2口目には、60歳から受給できる年金が3種類あります。

加入する型	受取り期間	保証期間	遺族一時金
1口目	A型 65歳から一生涯	80歳まで15年間	○
	B型 65歳から一生涯	保証期間なし	×
2口目以降	A型 65歳から一生涯	80歳まで15年間	○
	B型 65歳から一生涯	保証期間なし	×
	I型 65歳～80歳	80歳まで15年間	○
	II型 65歳～75歳	75歳まで10年間	○
	III型 60歳～75歳	75歳まで15年間	○
	IV型 60歳～70歳	70歳まで10年間	○
	V型 60歳～65歳	65歳まで5年間	○

- ※50歳1月以降に加入する人は、IV型およびV型には加入できません。
- ※詳しくは熊本県国民年金基金までお問い合わせください。

問い合わせ先 熊本県国民年金基金 ☎096 (387) 2220

後納制度（国民年金保険料の 納付期限の延長）があります

国民年金制度は、20歳から60歳に到達するまでの40年の間に国民年金保険料を納めていただくことで、満額の老齢基礎年金を受給することができます。

しかし、保険料を納めなかった期間がある場合や資格取得などの届け出忘れにより、国民年金の資格期間がない場合には、将来の年金受給額が少なくなったり、年金そのものが受給できなくなったりすることがあります（保険料納付や免除などの合計が25年（300月）未満の場合）。

このような事態を避けるために、昨年法律が改正され、平成24年10月1日から国民年金保険料を納めることができる期間が、過去2年から過去10年に延長される後納制度が始まりました。

具体的には、さかのぼって10年以内に納めていなかった保険料を納めることができるようになりました。（※）

ただし、既に老齢基礎年金の

受給権をお持ちの人は、納めることができまのでご注意ください。なお、後納保険料を納付するためには事前に申し込み審査することになります。審査の結果、後納制度による納付を利用できない場合があります。

詳しくは、「国民年金保険料専用ダイヤル」またはお近くの年金事務所へ問い合わせください。

※後納保険料を納付できる期間は、平成27年9月30日までです。

問い合わせ先

- ・国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570（011）050
- ・熊本西年金事務所 ☎096（355）3261



「スポーツ推進委員の役割」

スポーツ基本法制定に伴い、昨年4月に私たちの呼び名がスポーツ推進委員に変更されました。制度的には体育指導委員から移行したのですが、スポーツの指導普及には一段と役割がレベルアップされました。行政と住民のパイプ役からコーディネーターまで多様な役目が要求され、地域スポーツ活動における位置づけやその役割はより高度化されています。いずれにせよスポーツの指導や助言など、これまでのような行政が実施する行事への手伝い役ではなく、地域のスポーツ団体や総合型クラブ、さらには学校、自治会などと連携した運営や各大会の開催にも積極的に関わることが重要になってきました。従って、菊池市スポーツ推進委員としても、市民、特に中高齢者の健康づくり、体力づくりなどに進んで参加してほしいのです。そして生活の質を高め、人が元気に、まちも元気になるってほしいのです。

私が特に強調したいのは、菊池市の医療費の節減を目指すのが最終的目標だということです。

これからも委員一同役割を再認識し、より一層技量をアップさせ、市民の健康長寿を願い努力していきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

菊池市スポーツ推進委員協議会
会長 岩根彰男

2月2日・3日に鹿児島市で開催された九州地区研究大会に参加しました。この研究大会は九州各県におけるスポーツ振興上の課題と活動の成果などを研究協議し、スポーツ推進委員としての資質の向上を図り、生涯スポーツに親しむ社会を実現することを目的としています。

各県から2357人が鹿児島に集結し、地元委員による歓迎アトラクションで大会がスタートしました。

九州地区功労者表彰があり、菊池市からは岩根彰男会長が受賞されました。特別講演は、北京オリンピック競泳メダリストの宮下純一さんの「出会いに感謝（思い続けたオリンピック）」でした。メダリストになるまでに出会った先生・コーチ、支えてくれた家族とのさまざまなエピソードや、壁にぶつかったときに先生やコーチがかけてくれた言葉、また、人生のターニングポイントとなった人との出会いなど、ジョークを交えて話されました。

た。笑いあり、涙ありの講演でした。

2日目のシンポジウムでは、今後のスポーツ指導の在り方やスポーツ推進委員に期待される役割について、活動成果報告や意見交換がありました。私たち委員はスポーツの振興のため、地域スポーツの指導や助言などを積極的に実施していくことが重要であることを再認識した2日間でした。

（片山）



大会会場にて

2月10日、この時期恒例の市民スポーツ祭が総合体育館で行われました。競技もお楽しみ抽選会もたいへん盛り上がりしました。

ドッジビーは、子ども会から2チーム、バドミントンクラブの小学生や、小学校で参加者を募ったチームなど、5チームの総当たり戦をしました。小学生のみ・親子・中学生のチームがあり、体力に勝る中学生チームが優勝しました。

カローリング競技も総当たり戦でした。頭を使うスポーツという点もあり、時間をかけた試合が多く、道具が勝敗を左右する面もありました。

ローラーの癖を見抜き、それに対応することが求められました。参加選手が男性のみだったことから、「女性のチームがあってもいいし、若い人にも参加してほしい」という声が出ていました。

ミニバレーは、平均年齢50歳以上と未満の2パートで実施しました。ファインプレーに感嘆の声が上がったり、珍プレーに笑いが起こったりしました。今年は菊池高校生が参加し、優勝をさらっていきました。

市民スポーツ祭



ミニバレー（50歳以上）
健康に気を配り、来年もまた参加できるよう頑張ります。（竜王会）



ミニバレー（50歳未満）
初めて参加し、たいへん楽しくプレーすることができました。（菊高MG）



カローリング
花房魂で接戦をものにしました。MVPは山下文雄くんです。（花房体育会）



ドッジビー
体格差があっても大人げないと思いましたが、楽しめました。（菊池南中VOLTERS）

No.23

スポーツ推進委員だより

エニジヨイスポーツ

問い合わせ先 菊池市スポーツ推進委員協議会広報部 ☎0968(25)7234